



経営ワンポイント情報「不易流行」

by 目加田博史

何の為に働くのか

「仕事とは何か」「何の為に働くのか?」「幸せとは何か?」「なぜここまで苦勞して経営しなければならないのか」「生まれてきた目的は何だろう」「何の為に生きているのか」乗り越えられないかもしれないと思うような困難にぶつかった時、一所懸命に努力しても受け入れられなかったり、心が折れそうになった時、ふと心に噴き出す疑問があります。

みなさんもよくご存じの、旅人が出会った3人のレンガ職人の話はあまりにも有名です。旅人が職人に「何をしているのか」と聞いたときの職人の答えです。一人目の職人は「親方にやれと言われたから、レンガを積んでるのさ。外にまじな仕事もないので、やむを得ずやっているだけで、好き好んでやっていないさ」、二人目の職人は「塀を作っているだよ。丈夫な長持ちするような塀を作っているんだよ。この仕事のおかげで家族も養えるし、生活もできる。有りがたいことだ」、3人目の職人は「学校を作っているんだよ。未来を担う子供たちが楽しく勉強して、夢を実現できるようにしないとね」

言われてやらぬはスクラップ、言われたことだけでは機械並み、自分で考え行動してこそ人間らしさが味わえる。これは前職でよく聞かされました。言われたことの奥にある本質、本当のニーズをくみ取って、先手先行で仕事をするように口酸っぱくいわれました。お客様や上司から「あれどうなった?」と聞かれたら、相手に遅れを取

っている証拠だと。だから、相手の立場に立って、先手で行動することによって、かゆい所に手が届く本当の仕事ができると。すると褒美にもっと大変な仕事を任されました。仕事の報酬は仕事だからです。

はだしの原住民がいるアフリカに靴を売りに行ったセールスマンの話も有名ですね。「ミナハダシ。スグカエル」と本国に電報を打って本国に帰った営業マン。「ミナハダシ。クツオクレ」と本国に電報を打って靴の良さを説いて回った営業マン。同じ現象を見ても全く逆の判断、行動が生まれるのです。

これらの説話は聞いたときは、「なるほど」と思っても、自分の身に共感できる深刻な出来事が起きていないと心には届かないもので、すぐに忘れてしまいます。しかし、悩みに悩んでいた時には、まるで一条の光のように心にしみわたり、明るい希望にみち溢れ、自信がみなぎってきます。同じ言葉なのに、不思議ですね。

北尾吉孝氏のベストセラー「何の為に働くのか」はいつ読んでも気づきが多い本です。仕事がかまくいなくなったり、クレームが増えたり、人間関係で悩んだりしているときに読むと、目からうろこのような感動が何度も襲ってきて「その通り。その通り」と素直に、謙虚になってゆく自分を見つめます。

仕事は生活するお金を稼ぐ上で不可欠。だから極力損はしたくないという考え方があります。一方で、働くことは自分がこの世に生まれてきた使命、即ち、天職を全うするため、働くことによって自らを磨き高める最高の方法だという考えがあります。私は、後者に無条件で賛成します。やればやるほど楽しくて、充実感と達成感があり、たとえ失敗し

でも困難苦難が団体でやってきても、生まれ変わっても又この道を歩みたいと思うのが天職だと思っています。天職に巡り合えた人はもうすでにそれだけで至福の領域に達しています。

「真剣だと智恵が出る。中途半端だと愚痴が出る。いい加減だと言いつばかり」これは元巨人軍監督の川上哲治氏の名言です。まさにその通りです。「人事を尽くして天命を待つ」という言葉があります。人間としてできることの限りを尽くして、もうやりきった後は謹んで天の審判を待つ。いかなる結果が訪れようと後悔しない。ただ感謝があるのみという心境を言っているのですが、働くとは、この連続ではないかと思うのです。中途半端にやるので、失敗する。失敗して、注意されると腹が立つ。腹が立つので素直になれずふくれっ面をする。せっかくやろうと思っていたのにやる前に注意されて、注意した人を怨む。こんなことはありませんか。

機会があるごとに振り返りの黙想の時間を持ちたいものです。

株式会社目加田経営事務所

<http://21cmc.jp>

那覇 〒900-0014

那覇市松尾 1-18-22 8階

TEL098-864-0331

FAX098-860-3416

Email : mec@mekata.co.jp

京都 〒603-8478

京都市北区大宮釈迦谷 4-10

TEL075-334-5105

FAX075-493-8305

好きなもの「えがお」
得意ワザ「見える化」技術
嫌いなもの「現状維持」

2日間の「マルミエ診断」受付中！！
お電話ください。 098-864-0331